

千葉市地域文化財候補

くろすなぶんきょうじょう きねんひ

黒砂分教場の記念碑



- (1) 種 別 有形文化財（歴史資料）
- (2) 員 数 2 基
- (3) 所 在 地 千葉市稲毛区黒砂 3 丁目
- (4) 所 有 者 黒砂第一自治会
- (5) 所有者住所 千葉市稲毛区 2－9－13
- (6) 適用基準 市内の地域にとって歴史的に価値のあるもので、地域を知る上で必要なもの
- (7) 時 代 大正 3 年（校地購買記念碑）、昭和 13 年（学校敷地寄附記念碑）
- (8) 説 明 千葉市稲毛区黒砂 3 丁目、新港横戸町線黒砂陸橋脇の敷地に建っている二基の石碑である。「学制」発布後の明治 8 年、黒砂村に村民の手により黒砂小学校が創設された。その後この小学校は、近隣の登戸小学校や弥生小学校の分教場として、昭和 29 年 3 月まで存続し、約 80 年にわたり地域の発展と教育の向上に寄与してきた。

大正 3 年に建立された「校地購買記念碑」には、借地であった小学校の敷地を購入するために明治 40 年に黒砂村の共有林を売却してその資金に充てたことが刻まれており、昭和 13 年に建立された「学校敷地寄附記念碑」には、小学校に隣接する土地が学校の敷地として寄贈されたことが刻まれている。

黒砂分教場の跡地は、平成 14 年、新港横戸町線工事のため旧黒砂本村とともに黒砂陸橋の橋の下に姿を消した。そのため、黒砂分教場の存在を示すものはこの記念碑のみとなり、当地域の歴史を知る上で重要なものであるとともに地域にとって大変貴重なものとなっている。

参考文献：『黒砂分教場の歴史』（黒砂の資料を保存する会 2009 年）
『千葉市教育史 通史編上巻』（千葉市教育委員会 2000 年）
『千葉市史 近世近代編』（千葉市 1974 年）